

2019年1月1日から2021年8月31日の間に、
当院で入院リハビリを受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：重回帰分析を用いた当院におけるADL能力に影響を及ぼす因子の検討

研究期間：病院長の許可日～2022年8月31日

研究責任者：加納岩総合病院 診療部 リハビリテーション課 赤坂 恭史

加納岩総合病院リハビリテーション課では、上記課題名の研究を行いません。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

ADL能力とは日常生活動作のレベルのことで、ADL能力の向上は退院に向けた必要不可欠な条件の一つです。その中でも移乗や移動などはバランス能力が大きく関わっています。当院では様々なバランス評価を実施して、治療に役立てています。日々の臨床でADL能力の向上にはバランス能力の向上が不可欠になると考えます。しかし、先行研究では内科疾患を対象としたADL能力に影響を及ぼす因子についての報告は少ない。そこで今回、重回帰分析を用いてADLに影響を与える因子について検討を行いました。

【研究の方法について】

対象者は2019年1月～2021年8月までに入院した内科患者。
退院時にADL評価としてBarthel Index（以下BI）、バランス評価として10m歩行、Short Physical Performance Battery（以下SPPB）を測定。測定データを使用し重回帰分析を実施しました。

【利用する情報について】

<対象となる患者さん>

2019年1月～2021年8月までに入院リハビリを受けた患者様。

<利用する情報・項目>

- ①患者基本情報：年齢、性別
- ②退院時BI、10m歩行、SPPB

【情報を利用する者の範囲について】

この研究で使用する情報は、当院においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）により入手し、匿名化されたデータです。

【個人情報の取り扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行ないます。

【利益相反について】

開示すべき COI 関係にある企業などはありません。

【お問い合わせなどについて】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に破棄出来ないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたらご遠慮なく下記の連絡先まで、電話または FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも診療上何ら問題はなく、不利益を被ることはありません。

【問い合わせなどの連絡先】

加納岩総合病院

診療部 リハビリテーション課

赤坂 恭史

TEL0553-22-2511（代表）

FAX0553-23-1872